

# X T A P (eXpandable Transient Analysis Program)

Ver. 3.51

Ver. 2.51

## リリースノート

2024年1月  
一般財団法人 電力中央研究所

先日リリースいたしました Ver. 2.50/3.50 で以下の不具合がございましたので、それぞれ修正いたしました。いずれもバグフィックスのみとなりますので、プログラムのバージョンは Ver. 2.51/3.51 ではありますが、プログラムのインストール後(もしくは修正パッチ適用後)にスタートメニューに表示されるプログラムの名称は「XTAP V250」「XTAP V350 Pro」などのように、小数点第二桁の1は表記されませんので、ご注意ください。

変更点	詳しい内容	対応 Ver.
ブランチプロパティ一覧ウィンドウでの一括 ON/OFF 動作の不具合	ブランチプロパティ一覧ウィンドウにおいて、ブランチの記録プロパティや表示プロパティを一括して ON もしくは OFF したい場合に利用する「All ON/OFF」のボタンを利用すると、設定状況にかかわらず、常に「All OFF」となってしまう (All ON にできない) 不具合を修正しました。	V3 V2
XPLT の複数ファイル重ね書きの不具合	XPLT で複数の xpf ファイルを選択して波形を描画 (重ね書き) した場合に、指定した波形とは異なる波形が描画される場合がある不具合を修正しました。	V3 V2
リモートスイッチ切替器のヘルプ	リモートスイッチ切替器のヘルプが適切に表示されていなかったため、これを修正しました。	V3
発電所耐雷設計部品のパラメータ設定不具合	下記の発電所耐雷設計部品について、部品のプロパティを開いてパラメータ (公称電圧、ケーブル線種等) を選択し「OK」ボタンを押すと、見かけ上は選択したパラメータが設定 (保存) されるが、計算実行時に用いられる部品の内部素子の値には選択したパラメータが反映されず、以下の不具合が生じていたため、これを修正しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>部品箱から新規に置かれた部品の場合、解析実行時にエラーが出る。</li><li>例題の部品や、ユーザが以前のバージョンで作成した部品をコンバートした部品の場合、コンバート前に内部素子に設定された値で解析が実行されてしまう。</li></ul>	V3 V2

【対象部品 (●印をつけた6つの部品)】  
60 発電所耐雷設計部品

- 04 母線 -
  - 02 母線 (3相一括 GIS)
- 05 変圧器・VT・PD・ブッシング
  - 00 変圧器
  - 01 VT
  - 03 ブッシング
- 06 遮断器
  - 00 遮断器
- 08 ケーブル
  - 00 ケーブル

以 上

---